

済生会新潟病院 公開・オプトアウト書式

① 申請番号	E24-03
② 研究課題名	心不全におけるサクビトリルバルサルタンの継続状況と心不全標準治療薬の導入率に関する調査
③情報の利用目的及び利用方法(他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)	<p>2021年にJCS/JHFS急性・慢性心不全治療ガイドラインが改訂され、アンギオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬であるサクビトリルバルサルタンは左室駆出率の低下した心不全(HFrEF)の標準治療の一翼を担う存在として確立された1)。しかしながら、市販直後調査では低血圧など、服用の中止が余儀なくされてしまう症例が少なからず報告されている2)。そこで、当院におけるサクビトリルバルサルタンの継続状況を調査する。</p> <p>本研究では、サクビトリルバルサルタンを継続できずに離脱してしまう患者の背景や心不全の標準治療薬であるβ遮断薬、ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬(以下MRA)、ナトリウム/グルコース共輸送体阻害薬(以下SGLT2阻害薬)が併用されている影響などを調査し、心不全治療の際の効果的な導入方法の策定に貢献することを目的とする。</p> <p>本研究は、新たに試料・情報を取得することではなく、既存情報のみを用いて実施する学術研究である。オプトアウトについての資料を作成し、病院ホームページに掲載する。研究参加拒否の申し出があった場合は、研究対象者から削除する。拒否したことによる不利益が生じることはない。</p> <p>研究データの取り扱いとは特定の関係者以外がアクセスできない状態で行い、個人の特定ができない状態で保管・管理する。</p>
④利用または提供する情報の項目	電子カルテ情報
⑤対象者及び対象期間	2021年4月から2023年12月までの期間で、心不全患者において、サクビトリルバルサルタンを投与された患者
⑥利用の範囲	済生会新潟病院
⑦結果の公表	学会や論文等で公表します。個人が特定されることはありません。
⑧試料・情報の管理について責任を有する者	済生会新潟病院 薬剤部 石川 遥己 025-233-6161(代表)
⑨問い合わせ先	済生会新潟病院 薬剤部 石川 遥己 025-233-6161(代表)

もし、研究や情報の提供に同意をいただけない場合には、お手数ですが問い合わせ先までご連絡ください。なお、同意の有無が今後の治療などに影響することはありません。